

ベンダーロックインに関する地方公共団体への アンケート結果

ベンダーロックインに関する地方公共団体へのアンケート結果

アンケートの背景・目的

「AIによる下水処理場運転操作デジタルトランスフォーメーション（DX）検討会」における議論の中で、AI導入及び運用にあたり、運転管理データを容易に取得できる環境整備の必要性（ベンダーロックイン※への対応）が課題としてあがっており、今後の検討の参考とするため、下水処理場を有する地方公共団体に対し、監視制御システムのベンダーロックインへの対応状況などについてアンケートを実施した。

※ベンダーロックイン

既存システムと通信が必要な新規システムを構築する場合、既存システムベンダーが独自の通信仕様を採用しているため、他社ベンダーが参入困難である状態のこと。

アンケート対象

下水処理場を有する地方公共団体を対象として、右記の条件で抽出した団体についてアンケートを実施した。

【抽出条件】

都道府県 政令市 : 全て
中核市 一般市 町村 : ランダムに抽出

	都道府県	政令市	中核市	一般市	町村	合計
アンケート依頼団体数	42	20	25	43	46	176
アンケート回答数	51※	18	21	39	34	163

※流域下水道ごとに回答している都道府県があるため、依頼団体数よりも回答数が多くなっている。

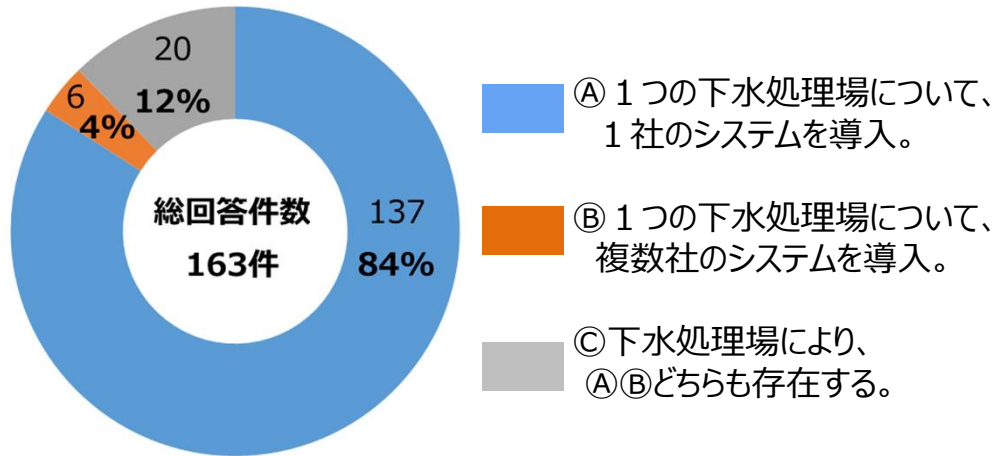
アンケート方法

アンケートWebシステムを用いて実施（インターネットに接続できない団体はExcelにて回答）

ベンダーロックインに関する地方公共団体へのアンケート結果

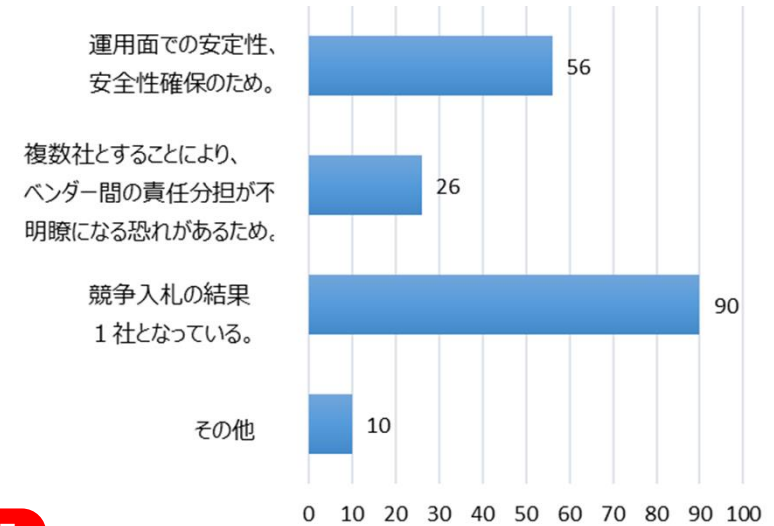
設問2

個々の下水処理場における監視制御システムのベンダー混在状況について



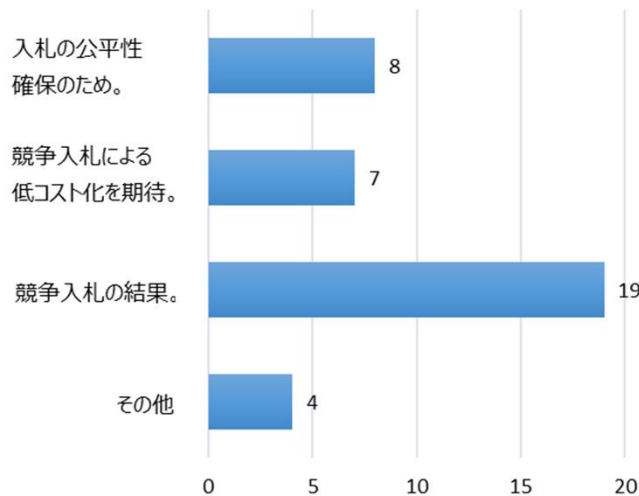
設問3

1つの下水処理場について1社のシステムを導入している理由



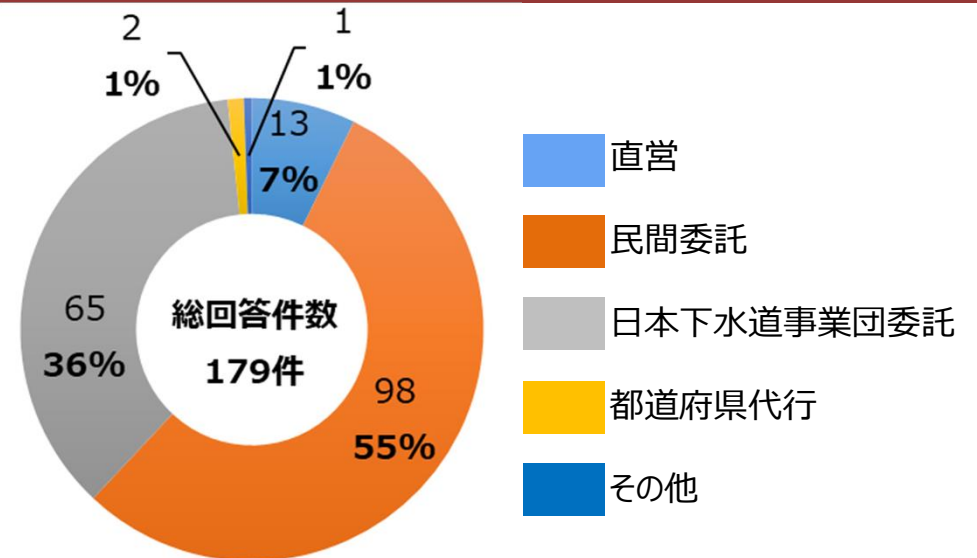
設問4

1つの下水処理場について複数社のシステムを導入している理由



設問5

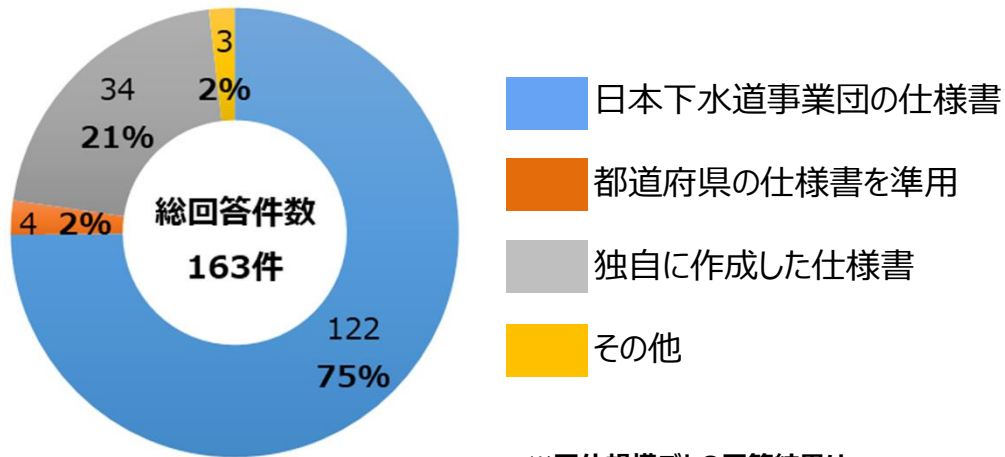
監視制御システムの詳細設計をどのように実施しているか



ベンダーロックインに関する地方公共団体へのアンケート結果

設問6

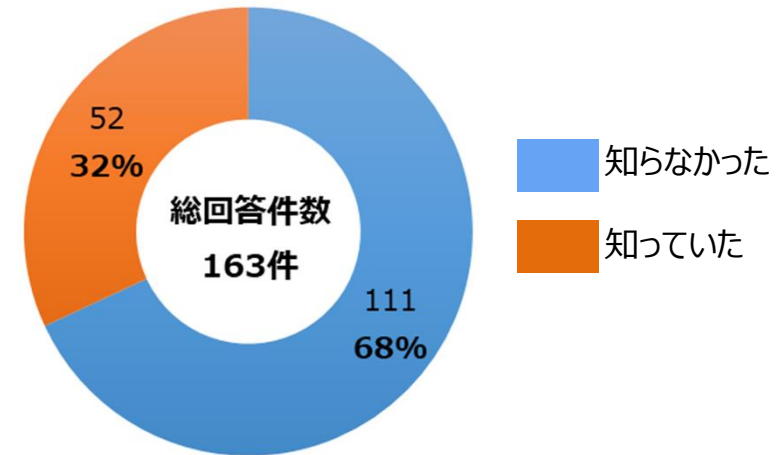
監視制御システムの仕様書は何を使用しているか



※団体規模ごとの回答結果は
P.5「団体規模別回答結果」に記載

設問7

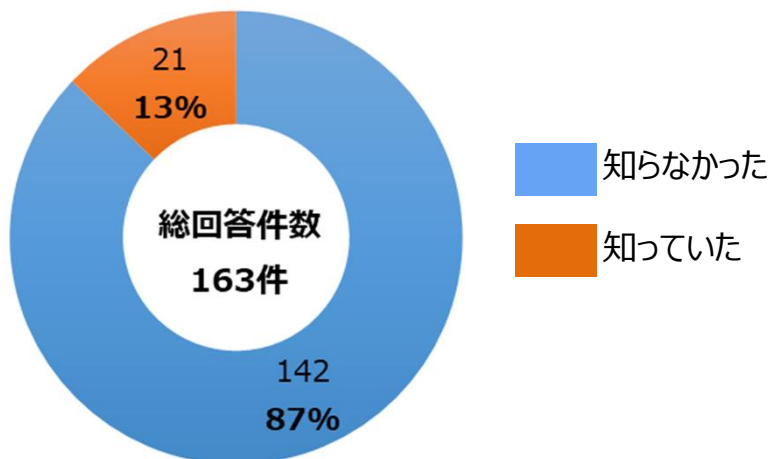
ベンダーロックインという言葉を知っていましたか



※団体規模ごとの回答結果は
P.5「団体規模別回答結果」に記載

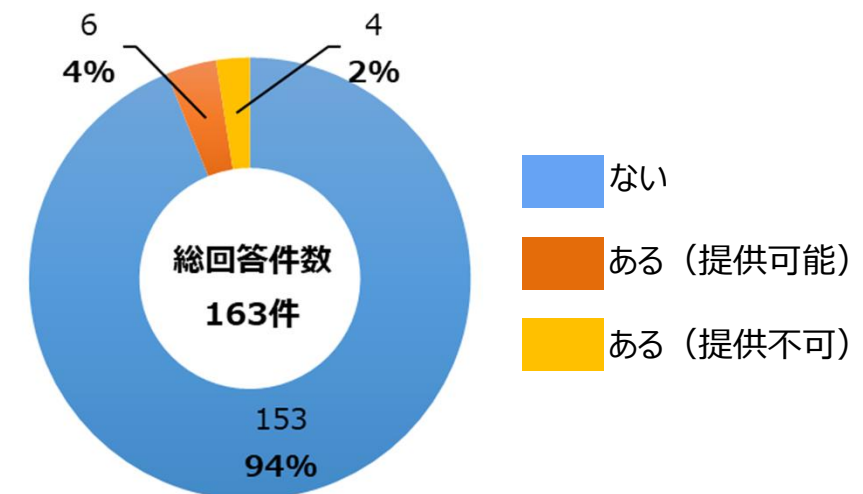
設問8

公正取引委員会が実施した「官公庁における情報システム調達に関する実態調査について」を知っていたか



設問9

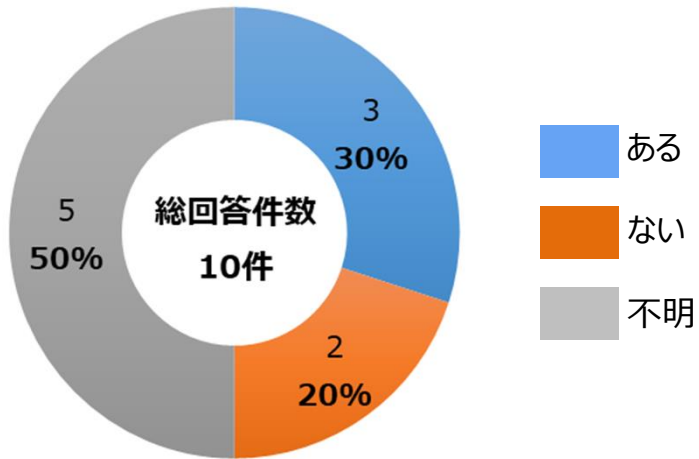
ベンダーロックインの解消につながる発注方法の事例があるか。ある場合その発注仕様書の提供が可能か



ベンダーロックインに関する地方公共団体へのアンケート結果

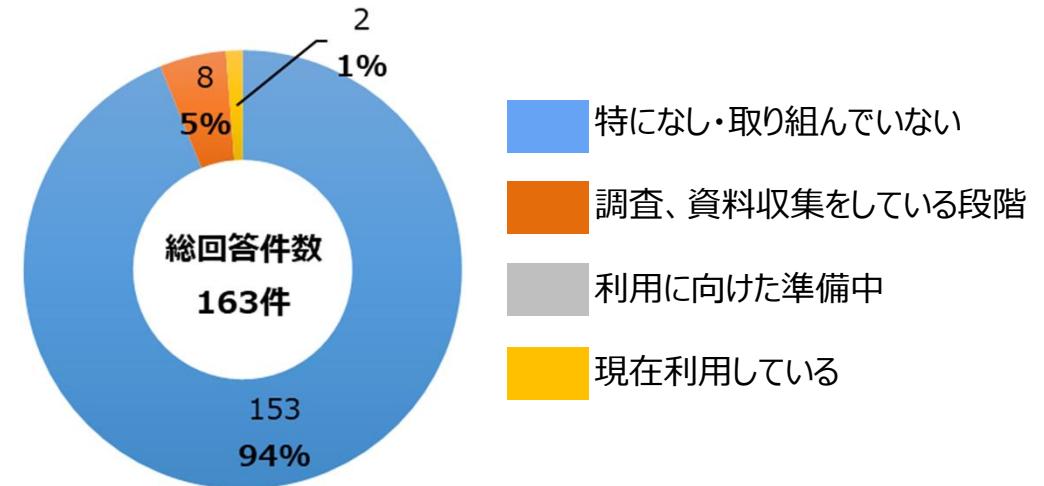
設問10

設問9で「ある」の場合、ベンダーロックインの影響で見積提示額が高いと感じた事があるか



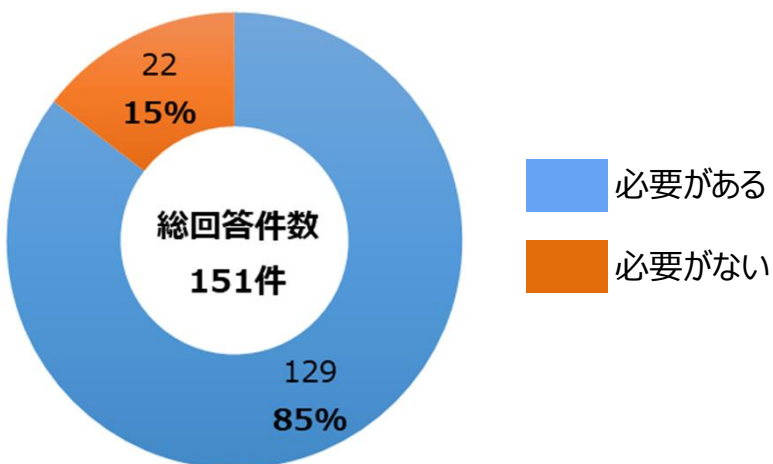
設問11

ベンダーロックインの対応に向けて、データプラットフォーム化に取り組んでいるか



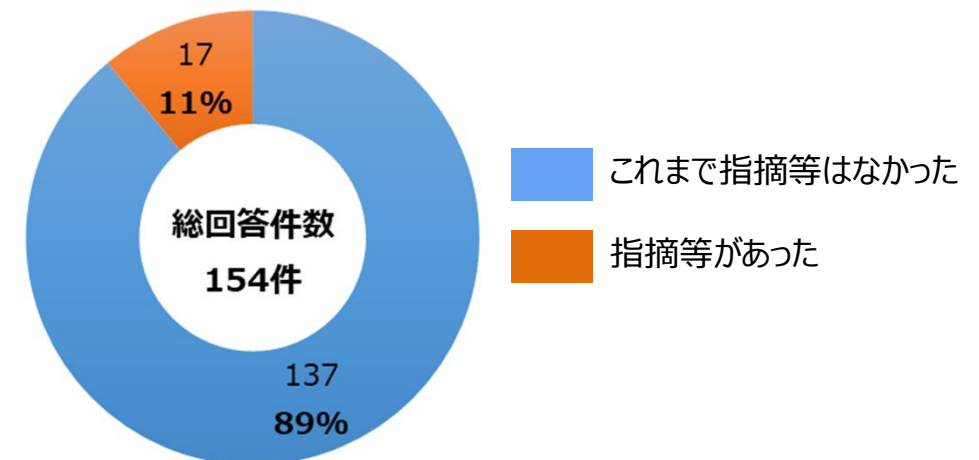
設問12

AIを含むDXの推進には維持管理データ等のオープンデータ化を図る必要があると考えるがどう思うか



設問13

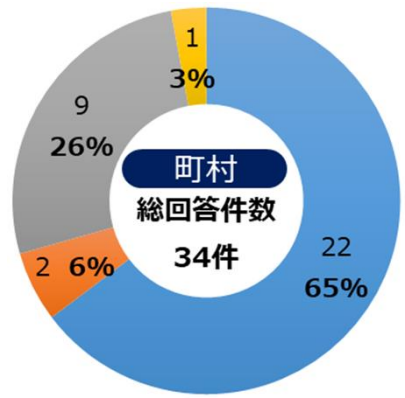
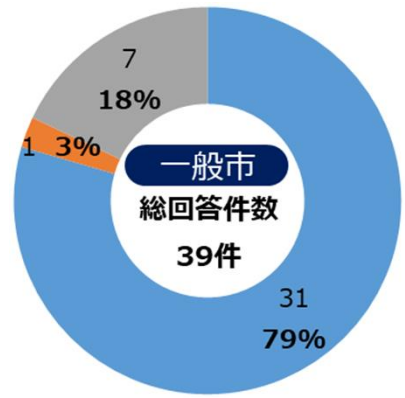
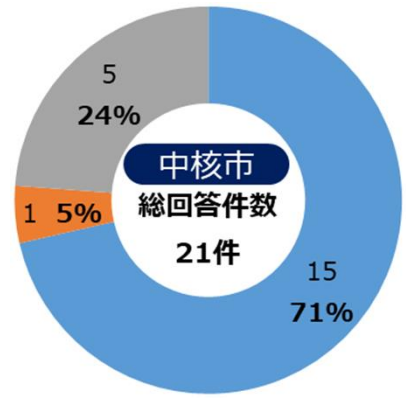
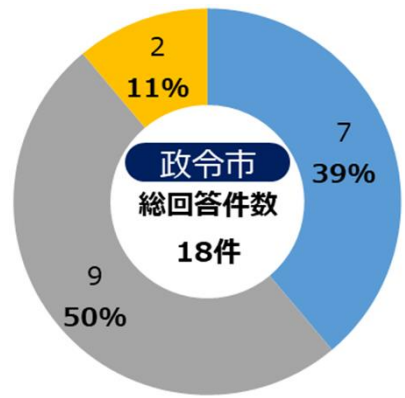
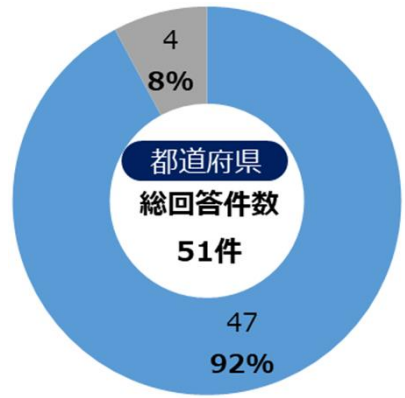
契約部門、内部監査部門等からベンダーロックインに伴う随意契約や1社入札について指摘等があったか



ベンダーロックインに関する地方公共団体へのアンケート結果

団体規模別回答結果

設問6 監視制御システムの仕様書は何を使用しているか



設問7 ベンダーロックインという言葉を知っていましたか

